

育友会だより



第48回近畿地区高等学校PTA連合会・滋賀大会が開催

7月1日、滋賀県草津市のくさつシティアリーナで行われた第48回近畿地区高等学校PTA連合会・滋賀大会に、南紀高校より、加藤会長・大川副会長・坂本校長・久保事務長の4名で参加しました。

開会式でのウェルカムパフォーマンスでは、滋賀県立守山高等学校・吹奏楽部によるすばらしい演奏を披露してくれました。



高松 平蔵 氏

開会式のあと、記念講演「ドイツからの眼差し、未来志向でPTAを考える」と題してドイツ在住のジャーナリスト 高松平蔵氏より、ドイツと日本との違いを講演していただきました。

高松氏は、未来のための視点、中長期的な視点で未来志向であり、要するに持続可能な視点のことだと話されていました。

午後から、シンポジウム「みんなで考えよう！PTAのこれから」と題し、高松氏を含めた3名のシンポジストによるディスカッションがありました。

PTAの活動は、果たして誰のための活動なのか？未来の子供たちのためであることを忘れてはならないと思いました。

滋賀県の子供たちの書道に学ぶ

同日のサンクスパフォーマンスでは、滋賀県立伊吹高等学校・書道部の皆さんの迫力のあるパフォーマンスに圧倒されました。

書道というと、正しい字を美しく書くものですが、滋賀県の書道は、かなり特殊です。

- ・とにかく太く大きく書くこと
- ・「とめ」「はね」は自由
- ・バランスよりも勢い重視

書道を習う子供たちにとって、やらされている感なく自分の好きなように書かせてもらえる環境は、やる気スイッチがオンになる可能性はあると思います。

子供は「やりなさい！」「直しなさい！」による行動は苦手ですが、「やりたい！」による行動から、大人が驚くような才能を発揮するからです。

高校生の最高峰の大会「書の甲子園」では、過去5年間、滋賀県の高校は関西地区大会において毎年優勝、準優勝のいずれかもしくは両方に輝いています。

固定観念にとらわれず、独自性を貫き、個性を磨くことこそが、今の社会に求められていることかもしれません。

わかやま夏の交通安全運動が実施中

7月11日～7月20日までの間、「わかやま夏の交通安全運動」が実施されています。

ご家庭でも、歩行者優先の交通ルールの遵守、自転車乗車時のヘルメットの着用・自転車保険への加入にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。